

登録コード	TSN16500	開講年度	2026			
授業科目	都市計画特論				担当教員	森本 瑛士
英文授業名	Advanced City Planning				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・3時限	
講義室	工E4-院実習室		授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】			【授業の達成目標】		
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ, 2 4 TSカリ, 2 3 TSカリ					
	【専攻】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える工学分野の高度な専門知識と実践的技術力			専門知識を身に付け, 学習した分析手法を使用・説明できるようになる.		
(2)授業の概要	第1～7回では専門的な基礎知識を学ぶ. 第8～14回では研究を進める上での分析手法を学び, 実際に簡単な例で分析をし, 考察する. 第15回ではこれまでの総括をするとともに, 近年の都市計画について学ぶ.					
(3)授業計画	第1回: 概説 第2回: 都市の成り立ちや諸問題 第3回: 計画手法 第4回: 災害と都市計画・復興計画 第5回: 観光と都市計画 第6回: 環境問題と都市計画 第7回: 世界の都市計画 第8回: 都市交通計画 第9回: 統計と都市計画 第10回: 地理情報システムGISを用いた都市分析手法の解説と演習1(密度分析) 第11回: 地理情報システムGISを用いた演習2(最近隣距離) 第12回: 地理情報システムGISを用いた演習3(座標系による誤差) 第13回: 地理情報システムGISを用いた演習4(集計分析) 第14回: 地理情報システムGISを用いた演習5(立地分析) 第15回: 近年の都市計画 進捗に応じて授業内容が前後することがあります					
(4)成績評価の方法	テストは実施しないが, 第1～8回の間に基礎知識に関する1つのレポート課題, 第9回に関する1つのレポート課題, 第10～14回の間に分析手法を用いた5つのレポート課題を出題する. それら計7つのレポート内容から評価する.					
(5)成績評価の基準	秀: 十分な知識があり, 分析結果の読み取り・考察・提言ができている 優: 平均よりもやや多くの知識があり, 分析結果の読み取り・考察ができている 良: 平均的な知識があり, 分析結果の読み取りができている 可: 最低限の知識があり, 分析結果を示すことができている					
(6)事前事後学習の内容	予習は必ずしも必要としないが, 復習は推奨する. 主な内容は以下の通り. ・専門知識の復習 ・演習(統計学・GIS)による理解度促進					
(7)履修上の注意	地理情報システムGISを用いるにあたって, QGIS(無料)をダウンロードしたPCが必要となる. なおダウンロード方法は授業中に説明する.					
(8)質問,相談への対応	メールまたは講義前後に相談して下さい.					
(9)その他						
【教科書】	指定しない					
【参考書】	授業中に適宜指定(またはプリントを配付)する					